

季節と生き物（春）

1 単元の概要

私たちの身の回りの自然を観察すると、四季折々それぞれの季節に応じた動物の活動や植物の成長を見ることができます。校庭や学校の周辺を観察するだけでたくさんの動植物に出会うことができます。そして、四季ごとに動植物を探し、それらを育てたり観察を継続的に続けたりすることによって、子どもたちは動物の活動や植物の成長は季節によって違いがあるということをとらえるようになります。

「春」は、動植物の活動が急速に始まる季節です。新年度を迎え進級した子どもたちは生き生きとしています。自分たちの成長と動植物の成長とを重ね生命の息吹を感じさせると共に、一年間を見通して動植物の活動を調べる目標をもたせるようにします。

2 学習のねらいと手だて

- 身近な動物や植物を探したり育てたりして、春の動物の活動の様子や春の植物の成長に伴う変化を観察し、その特徴をとらえることができるようにする。
- 動物や植物の活動や植物の成長と、春という季節とのかかわりについての見方や考え方をもちょうにするとともに、生き物を愛護する態度を育てていく。



マイクロハイク

3 指導計画（総時数8時間）

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I 春の校庭や身近な場所の動物や植物の様子を調べ、1年間自分が調べる動物や植物を決め観察する。	○ 自分が調べたい動植物を決めさせる。観察カードの書き方やまとめ方を指導する。また、四季を通じて動植物がどのように変化していくのか予想させる。	3時間
II 春の動物や植物の様子の調べ方について話を聞き、観察する。 ① 博物館の自然学習園でネイチャーゲームをしよう。 ② 博物館の自然学習園で動植物を観察しよう。	■ 博物館での学習 ◆ 自然学習園 ○ 博物館の自然学習園でネイチャーゲームを行い春の動植物に興味・関心をもつ。さらに、動植物の活動や成長をどのように記録すればよいか話を聞き、自然学習園で観察する。	2時間
III ツルレイシの種子をまき、育つ様子を観察する。	○ 次の観察のときどのくらい成長しているか予想して調べるようにする。	3時間

4 学習展開例（2時間扱い）

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
1 博物館の自然学習園でネイチャーゲームをしよう。		博物館での学習 1時間
I 虫眼鏡と糸を使ってマイクロハイクをする。 II 感想を話し合う。 III 北九州市で普通に見られる動物や植物を自然発見館の資料を通して調べる。	○ 地面に1メートルの糸をはわせる。糸を道に例えて、糸に沿って小さな動物たちの視点で地面を虫眼鏡で見えていくようにさせる。 ○ 子どもたちの素直な感想を聞きだし、動物や植物が生きていることを実感させるようにする。 ○ 校庭の周りでも普通に見られる動植物について名前由来や特徴などについて写真や剥製標本とその解説パネルなどを通して調べる。子どもたちに今まで気付かなかった動植物の不思議を感じ取らせ、さらに調べる意欲をもたせるようにする。	◆自然学習園 ・糸 ・虫眼鏡 ・ワークシート ◆自然発見館
2 博物館の自然学習園で動植物を観察しよう。		博物館での学習 1時間
IV 自然学習園で動植物を観察する。 V 季節ごとに動物や植物の観察を行う目標をもつ。	○ 観察カードの書き方を指導し、マイクロハイクで見つけた動物や植物を記録させるようにする。 ○ 季節と動植物の活動や成長との関係を調べる意欲付けを行う。	

5 博物館での学習

1 博物館の自然学習園でネイチャーゲームをしよう。

博物館での学習
1時間

博物館には、自然学習園があり、北九州市の林や北九州市の草原などを再現しています。自然学習園を使って、地面に1mほどの糸を置きその糸を道に例えて、糸に沿って虫眼鏡で見ていくネイチャーゲームをして、日頃気がつかない植物の息吹きや小さな動物たちの存在を感じさせます。子どもたちは動物や植物に興味・関心を持ち、もっと知りたい調べたいと思うでしょう。

さらに、北九州市で普通に見られる春の動物や植物の話聞きます。子どもたちは自分たちの身の回りに興味深い動植物がいることに気付き、校庭や家の回りで身近な動物や植物を探し、調べようとするでしょう。

一年間という大変長い期間を通して季節による動物や植物の活動や成長を観察することは大変なことです。話を聞くことにより子どもたちがこれからしていく観察への意欲をもつことができるでしょう。



自然学習園



虫眼鏡を使っでのマイクロハイク

2 博物館の自然学習園で動植物を観察しよう。

博物館での学習
1時間

自然学習園へもう一度出かけ、春に見られる動物や植物の観察を始めましょう。学習1をふまえ、虫眼鏡やワークシートを与えて、普段気付かない細かいところまで観察させるようにします。十分満足いくまで観察することができたら、1年間観察を続ける動物や植物の活動や成長が、季節が変わるとどう変わるのか話し合えます。

子どもたちは自分たちが観察した春の動植物が、夏になるとどのように変化していくのか問題を持ち、季節との関係を追究していこうとするでしょう。

1 虫めがねを使って、マイクロハイクをしましょう!

POINT ミクロハイクのやり方

野原に1mほどの糸をはわせます。この糸を道にたとえて虫めがねで糸のまわりをかんさつしながらたどってみましょう。

ミクロの世界には何が見えるかな?

※虫めがねで太陽を見てはいけません!



こんなものが見えたよ! 見つけたり感じたりしたことを書きましょう!

- ・虫から見たら草も大木みたいに見えるんだね。
- ・わあっ、アリがやってきたぞ!! いつもは小さく見えるアリが、大きな牙を持ったかいじゅうに見えるよ。こわい! にげろー
- ・虫からしたら、人間からいつ踏まれるかビクビクしなきゃいけないね。
- ・雨が降ってきたらどうなるのかな?

など、見つけたり、感じたりしたことをそのまま書かせてください。

2 自然学習園で、動物や植物をかんさつしよう!

かんさつした植物の名前 ()	月	日	時
かんさつした場所 ()	天気	気温	℃
絵をかく			

気づいたことや感想

学校 4年 組